

— 地域とともに未来を創造する —

# 株式会社 水野建設コンサルタント



所在地：〒862-0933 熊本市小峯2丁目6番26号  
 TEL：096-365-6565  
 FAX：096-365-6996  
 URL：http://www.mkc.co.jp  
 従業員：88名  
 創立：昭和27年  
 代表者：代表取締役 水野 勝英



本社屋全景



熊本駅周辺整備イメージスケッチ



平成21年度新入社員歓迎会



ワーキンググループ活動



マルチビーム測量(現況)



マルチビーム測量(可視化)



シンポジウム参加



幹線道路の交差点設計



CGによる動画作成

## 経営方針

当社は昭和24年測量法公布後、昭和27年2月に熊本県測量業第1号の水野測地社として発足、以来58年を経過しております。

創業以来脈々と築きあげてきた測量技術を礎に、国土交通省、JR、地元の官公庁を主体にして実績と信頼をモットーに社業の発展に努め、昭和46年に建設コンサルタント登録、昭和59年に補償コンサルタント登録をおこない、九州の地域とともに未来を創造するコンサルタントとして社会資本整備の一端を担っております。

本社は熊本市東部にあり、東には世界一のカルデラで名を馳せる阿蘇連山を望み、西には築城400年を迎えた日本三名城と謳われる熊本城を遠くに望む風光明媚な環境にあります。

創業者の口癖であった「良い物を納めることが我々の仕事だ」の精神を受け継ぎ、地域に根ざし、技術者として信頼を受けることをモットーとする専門家集団を目指してこれまでの道を歩んで参りました。

そんな当社の経営方針は、「仕事を通して己を磨き、地域社会に貢献することで、ともに豊かになることを目指す」であります。自分で選んだ会社に貢献し、仕事を通じて社会に貢献することで、技術者とし

ての信頼を得る喜びを知る。その結果として、顧客満足度や社員満足度の向上に繋げていく。

そのためには、「安易な価格競争には参加しない」という経営スタンスを持ち、総合評価落札方式やプロポーザル方式による受注の拡大に総力を挙げ、「選択される企業」として認められるように、社員一同気を引き締めております。

## 技術

今、私たちが住む熊本市では九州新幹線鹿児島ルートが平成23年春の全線開通を目指して、熊本駅周辺の整備が急ピッチで進んでおります。

地方都市にとって百年の大計といわれる熊本駅周辺を、魅力的な街並みとするために設けられた「熊本駅周辺地域都市空間デザイン会議」に図るための様々な提案、資料作成、とりまとめを行う「ワーキンググループ」に当社も設立時より参画しております。

優に70回を超えるワーキンググループの活動によって磨かれた、長期にわたる都市整備に対しての計画、設計から施工、維持管理までを責任持てる人材が育ってきたことは、当社における大きな財産となったのではないかと思います。

## 産学連携

産学連携の活動として、2008年11月には土木学会主催の第33回情報技術シンポジウムにおいて、「3D-CADを基盤としたトータルデザインシステムの提案」の学会発表、2009年6月には、横浜市で開催された海洋開発シンポジウムにおいて、「干潟地形測量における実測横断測量とGPS測量による観測結果の比較検討」を発表するなど、若手技術者の多方面での交流と自らの知識を高めていく環境づくりを実践しております。

## 技術協力

日本補償コンサルタント協会九州支部の定期講演会や、熊本県部会での県市の職員を対象とした用地補償業務における勉強会で講師を勤めるなど、業界の発展に少しでも寄与できるような努力を惜しまぬ社員に恵まれていると自負しております。

## 大地を測る

私たち水野建設コンサルタントのスタートは測量。おこがましくも伊能忠敬翁の精度を求めた測量にかける情熱を尊び、良き手本とし、日夜大地を測っております。

VRS (バーチャル・リファレンス・ステーション)での高精度で効率的な測量やマルチビームによる湖底や海底のリアルタイムでの高精度測量により、経年変化する見えない大地の可視化を可能にしました。

## 夢を伸ばす

当社におきましても公共事業に対する逆風の影響は大きく、まさに今が正念場の状況は偽らざる事実であります。

そのような中、自然発生的に「社員からの提案」が届けられました。各部門における社員のそれぞれの立場から届けられたメッセージに、会社を大事に思う心、今は死語になったと言われて久しい「愛社精神」を地で行くような行動に、大いなる感謝しております。

仕事の延長に夢があることのすばらしさを伝え、その夢に近づけるような経営を目指していく企業でありたいと考えております。

夢の実現に取り組むことのすばらしさを大切に、その夢を伸ばすために社員一同、力をあわせて、豊かな国土と大切な県土の未来づくりに努力を続けて参ります。

(文：技術担当取締役 椎葉 晃吉)